



2025年12月2日

各 位

会 社 名 ペ プ チ ド リ 一 ム 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 リード・パトリック
(コード番号: 4587 東証プライム市場)
問い合わせ先 IR 広報ディレクター 沖 本 優 子
電 話 番 号 (0 4 4) 2 2 3 - 6 6 1 2

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、足元の業績動向等を踏まえ、2025年2月13日に公表いたしました2025年12月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年12月期通期連結業績予想の修正（2025年1月1日～2025年12月31日）

(単位: 百万円、%)

	売上収益	Core営業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
前回発表予想(A)	49,000	21,700	21,600	21,200	15,100
今回修正予想(B)	18,000	△5,300	△5,400	△5,800	△4,000
増減額(B-A)	△31,000	△27,000	△27,000	△27,000	△19,100
増減率(%)	△63.2	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2024年12月期)	46,676	21,225	21,113	20,888	15,014

2. 修正の理由

2025年2月13日に公表いたしました当社の2025年12月期通期連結業績予想では、当期中に特定の開発マイルストーンの達成および新規提携が高い確度で達成されることを想定していました。売上収益に大きく寄与する案件の1つとして、自社品である経口マイオスタチンプログラムの導出が想定されていました。2025年12月期においても、当社はこの有望なプログラムを進展させ、経口バイオアベイラビリティやユニークな二重の作用機序に関する強力なデータ・パッケージに加えて、臨床開発段階へ進めていくためのIND申請データの構築を進めてまいりました。本プログラムに关心の高い複数企業との提携交渉は順調に進展していますが、現在も継続中であり、本年12月末までの時間的制約を勘案しますと当期中に契約締結の完了には至らない見通しとなりました。本プログラムにおいて当社は、株主価値を最大化し、革新的な治療法を患者さんに

お届けするため、最適なパートナーとの提携を実現することを最優先に考えています。本プログラムが業界で認知される唯一の経口マイオスタチン阻害薬であること、および最近の臨床試験において、マイオスタチン・アクチビン経路の阻害薬が体重減少薬との併用によって健康的な減量に寄与する明確なエビデンスが示されたことからも、当社プログラムは高い優位性を有するものと考えています。またマイオスタチンプログラム以外において、当期中に発生することを見込んでいた提携プログラムの開発マイルストーンおよび新規プログラム契約締結の時期が 2026 年 12 月期に期ずれする見通しとなりました。これらの状況を踏まえ、当社は 2025 年 12 月期通期連結業績予想における売上収益を 180 億円に修正し、またこれに伴い、Core 営業利益・営業利益・当期純利益の各利益項目について業績予想を修正いたします。

当社は、5つのコア領域において、革新的で高い価値を有する治療薬・診断薬の創製、および幅広い臨床開発パイプラインの構築に注力しており、世界中の患者さんの重要なアンメット・メディカル・ニーズに応えることを目指しています。2025 年 12 月期においても非常に生産的な成果を重ねてきており、過去 12 か月間において 4 つの RI-PDC 提携プログラムが臨床開発段階へと進展するとともに、PSMA プログラムでは国内承認取得を目指した臨床試験を開始し、自社品である CA9 プログラムでは米国 FDA への IND 申請を提出いたしました。また、当社より導出した GhR プログラムでは第 2 相臨床試験が開始されています。2025 年 12 月 5 日に開催予定の R&D 説明会では、臨床開発パイプラインの詳細な進捗について最新のアップデートをご説明させていただきます。

※本件に関して、本日 16 時 30 分よりアナリスト・機関投資家・メディア向けの説明会（オンライン）を開催いたします。本説明会に関する資料は、説明会終了後に当社ウェブサイト上の公開を予定しています。

注）本予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

以上